

「応援します!! あなたの農業」

# あぐりサポートニュース

福島県農業振興公社だより

第 29号 平成21年7月

発行元 福島市中町8番2号  
財団法人福島県農業振興公社  
TEL 024-521-9834 FAX 024-521-8277

## 平成21年度・合理化事業推進会議が開催されました。

平成21年6月30日（火）郡山市の福島県農業総合センター「多目的ホール」において、県、市町村、市町村農業委員会、JA合理化法人、県農協中央会、県農業会議など、合理化事業の関係者126名が一堂に会し、平成21年度農地保有合理化事業推進会議を開催しました。



この会議は農地保有合理化事業の円滑な推進を図ることを目的として、毎年当公社が開催しております。

当公社羽田理事長による主催者あいさつの後、県農業担い手課松村副課長からあいさつをいただきました。

今年度は、農地法の改正に伴う合理化事業の改正点や事務取扱の留意点等について各担当者が説明を行いました。



引き続き、県農業担い手課鈴木主査から「福島県における農地利用集積対策」、県農村振興課和田山主任主査から「耕作放棄地再生緊急対策」について、それぞれプロジェクターを駆使したわかりやすい対策事業内容が説明されました。

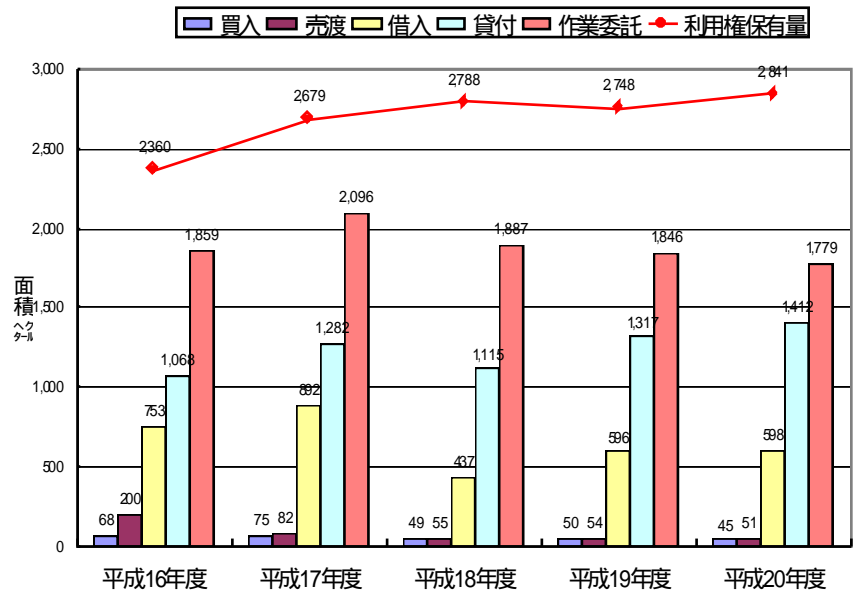


平成20年度の事業実績

最近5ヶ年の農地保有合理化事業実績の推移

平成20年度の農地保有合理化事業の実績をお知らせいたします。

- ◆買入 45 ㌥
- ◆売渡 51 ㌥
- ◆借入 598 ㌥
- ◆貸付 1,412 ㌥
- ◆作業受委託 1,779 ㌥
- 利用権保有量 2,841 ㌥



売買事業は、依然と続く農地価格の下落等の影響により担い手農業者の農地取得による規模拡大意欲の減退から減少傾向にあります。

貸借事業及び農作業受委託推進事業は、基盤整備事業の農地集積事業等と連携した地域ぐるみの土地利用調整を積極的に推進しており、これら利

用調整支援地区数は平成20年度末で23市町村、93地区を数えます。

県公社は、農地利用集積を通じて地域の担い手を支援しています。

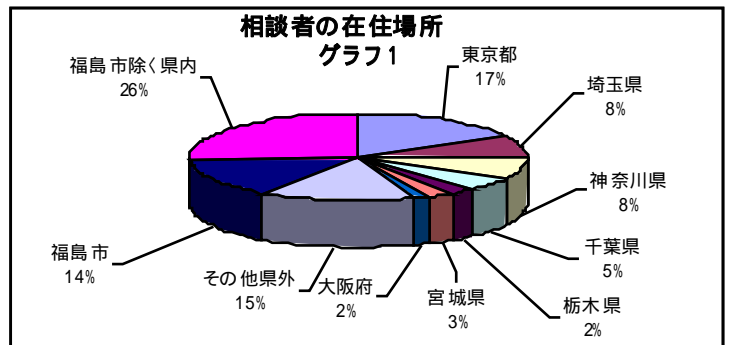
農地の売買・貸借は当公社にご相談下さい。

育成センター

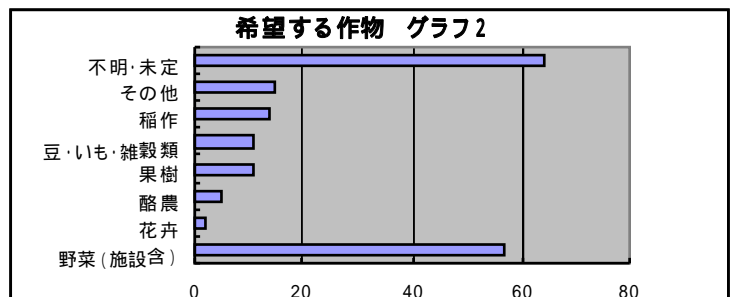
179名の方から新規就農相談

平成20年度に青年農業者等育成センターが新規就農希望者から相談を受けた相談者数実績は、179名となっています。

相談者の住所地を見ると約6割の107名の方が、関東近県を中心とする県外からの相談となっています。(グラフ1参照)



相談者の希望作目は、野菜(施設を含む)が57名と一番多く、全体の1/3を占めています。(グラフ2参照)



今月のコラム

” 風鈴 ”

先日押入の整理をしていたら、ガラスの風鈴がでてきたので、久しぶりに窓に吊り下げると、そ

よ風を受けてチリリーン と可愛い音色を奏で、一瞬心地よい涼しさを感じました。

昔は夏の風物詩として家々の軒先にガラスや南部鉄器などの風鈴が吊り下げられていて、

## 総務課

先頃改選されました当社の理事・監事及び評議員をご紹介します。(平成21年7月1日現在)

### 1. 理事及び監事

### 2. 評議員

役職名	氏名	職名	役職名	氏名	職名
理事長	羽田 徳一	常勤	会長	島 利行	福島県農林水産部政策監
理事	鈴木 義仁	福島県農林水産部長	副会長	中島 精一	JA福島中央会参事
〃	安田 壽男	JA全農福島県本部運営委員会会長	評議員	菅野 盛雄	福島県農林水産部参事兼農林総務課長
〃	冨塚 宥暁	田村市長〔福島県市長会〕	〃	沼田 光夫	福島県農林水産部農業振興課長
〃	山口 博續	西会津町長〔福島県町村会副会長〕	〃	梅村 正敏	福島県農林水産部農村計画課長
〃	但野 忠義	福島県酪農業協同組合代表理事組合長	〃	馬場 恒郎	福島県町村会常務理事兼事務局長
〃	植田 英一	福島県土地改良事業団体連合会会長	〃	田中 亮	福島県農業会議事務局長
〃	立花 正清	福島県農業会議副会長	〃	佐藤 善文	福島県土地改良事業団体連合会環境整備部長
監事	長島 俊一	JA福島中央会常務理事	〃	島 義重	相馬市農業委員会会長〔農業委員会〕
〃	大出 隆秀	公認会計士	〃	安田 善喜	福島県指導農業士会長

平成20年度の特定鉱害復旧事業の実績は、次のとおりとなりました。

(単位：件、千円)

実施市町村	件数	被害の規模	事業費
相馬市	1	浅所陥没 11.0×9.8m×深さ5.8m 1箇所	21,495
南相馬市	2	浅所陥没 1.6×1.6m×深さ1.8m 1箇所	545
		浅所陥没 3.2×3.2m×深さ1.2m 1箇所	309
いわき市	4	浅所陥没 0.5×0.5m×深さ2.2m 1箇所	188
		浅所陥没 2.0×1.4m×深さ1.6m 1箇所	318
		浅所陥没 1.0×3.0m×深さ0.8m 1箇所	636
		浅所陥没 2.0×2.0m×深さ2.5m 1.5×1.5m×深さ0.5m 2箇所	943

## 永年勤続職員表彰

去る5月29日に開催された理事会の冒頭、永年勤続職員(30年勤続)が表彰されました。

農地調整課主任主査 松本 容子



涼しげな音色が聞こえ、ジージーと鳴く蝉の声とは対照的に太陽の暑さを忘れさせるものでしたが、最近はあまり見かけなくなり、風鈴の音も聞かれなくなりました。

マンションなどでは風鈴の音が騒音に感じられることもあり、吊り下げのを憚られていること

もあるようです。

暑い夏の日、クーラーもいいですが、時には風鈴を吊して爽やかな風を呼び込んで、涼しさを感じるのもエコな夏の過ごし方かもしれません。



Y. M

## 「チャレンジ」

会長 室井 崇

こんにちは、みなさん。今年度から会長をさせていただくことになりました室井崇です。今年のテーマは、ずばり「チャレンジ」です！

昨年度から県連活動の見直しをし、新しいイベントや直売活動に挑戦することで農業青年クラブ活動に新しい風を送り込み、活気と魅力を取り戻すべく行動しております。

若い農業青年が活気を失っては日本の農業は終わりだ！という強い思いから、型にはまった県連活動に終止符を打ち、魅力ある県連・活気ある県連・元気や希望が湧く県連にするため新しいイベントに挑戦しようと総会で決めました。

まず、既存の「アクティブステージ」を「わらしべ長者的研修会」と交流中心のイベントから、農業経営改善に繋がる研修会に変えました。これは昨年度農業クラブ員を対象にアンケートを取った結果、「交流」より「研修」がしたいとの要望に応え、このような研修会に変えました。実際第1回目を福島県指導農業士でもある「鈴木光一さん」に講師をお願いし非常に有意義な研修会になり事実参加するクラブ員も増加しました。大成功に研修会が終わったと思っております。



次に毎年夏に「農見本市」としてクラブ員の作った農産物 を売る直売活動も、今年 は 24 時間テレビと共同開催することになりました。24 時

間テレビを通して全国の皆さんに福島県農業青年クラブの活動をアピールし、なおかつ地元の消費者に自分達を知ってもらうことが目的です。初めての試みなので不安もありますが、それよりも楽しみのほうが強いです。

秋には福島県の農産物を県外の消費者にアピールするために、千葉県松戸市にある伊勢丹松戸店で直売活動をする計画もあります。

以上のように型にはまった県連活動から、楽しくなるようなイベントや農業経営改善に役立つ研修会を開催し魅力ある・活気ある・元気や希望が湧く県連になるよう「チャレンジ」し続けます！！

挑戦なくして何も始まりませんし成功はないのです！皆さん！！共に新しいことに「チャレンジ」していきましょう！！

来年度は福島県で農業青年クラブ東北大会が開催されます。共に輝き！！活気ある福島県農業青年クラブを見せ大成功させましょう！

**編集後記** 四国・九州・関東地方が梅雨明けしました。東北地方もそろそろ梅雨明けして、本格的な夏がやってきます。今年の梅雨は九州、四国地方では大量の雨が降り災害の発生もありました。福島地方では雨が少なく桃は甘くなると言われています。一方雨が少ないと野菜にアブラムシが多く発生すると農家の方が言っておりましたが、我

が家の家庭菜園のキャベツ、ソラマメ・ジャガイモに大量のアブラムシが発生して駆除が大変でした。あらためて農業の難しさを感じました。A.O

お問い合わせ

あて先 〒960-8681

福島市中町 8 番 2 号 福島県自治会館 8 F

財団法人福島県農業振興公社 総務課

T E L 024 (521) 9834 FAX 024 (521) 8277

URL <http://www.fnk.or.jp>